



加じき

第147号

44.1.6発行

発行所 加治木町役場
発行者 曾木隆輝
担当者 向江巧
編集者 中元邦夫
印刷所 吉屋印刷

全ご家庭に、もれなく配布



新年おめでとうございます

皆さま、お元気でご越年され、よいお正月をお迎えになったことと存じ、心からお喜び申し上げます。

各ご家庭でも、新しい一年間のご計画をおたてになり、それぞれの新しい目標に向かって、初日とともに輝かしい一年の第一歩を踏み出されたことと存じます。

ことし一年を、皆さまとともに、わたくしたちの郷土、加治木をより育て、さらに飛躍発展する年としたいものです。書初めをまねる坊や



年頭のごあいさつ

町長 曾 木 隆 輝

新年おめでとうございます。

明治百年ときわがれた年を、さまざま思い出を残しながら、アツという間に過去の中へ送って終いました。町民の皆さまにはお元気で越年されたことと思います。町も、皆さまのご協力で年のはじめ計画しました仕事も大部分を終えました。この点、心からお礼申し上げます。

郷土加治木も新しい時勢におくれぬための、いろいろの仕事が目の前に迫っています。いちばん大きなことは、加治木、鹿兒島間の高速度とインターチェンジの着工のことでしょう。これにもつき町の市街地からの道路計画を樹立し急ぐものから手をつけねばなりません。港のことも引き続き出てきます。

これら土木事業に対処する方策

をはじめ、教育施設、福祉関係のほか、農政、商工関係と、国や県の施策と相まって展開せねばならぬ新しい方向に應ずる道を開くことは容易でないと思いますが、精いっぱいやりましょう。

物価問題や教育問題などで町民の皆さまも苦勞もあらうかとお察ししますが、新しい年が皆さまに幸福な年でありますよう祈ります。特に若い力がたが、身も心も健やかに伸びてくださるよう念じてやみません。

最後は本年もどうぞ町政の発展のため、ご力添えくださいますようお願いいたします。

昭和四二年度 決算を承認

教育 委員に桑幡元長氏を再任

定例第四回町議会

定例第四回町議会は、さる十二月十三日町議事堂で開かれ、会期を十二月二十三日まで、十一日間とすることに決め、議事に入りました。

こんど提出された議案のうち、おもなものは町管住宅管理條例の一部改正、教育委員会委員の任命とそれに昭和四十二年度の一般会計二特別会計の歳入歳出決算の認定などです。

このほか四十三年度の一般会

計及び水道事業会計、国保特別会計の各補正予算が提出されましたが内容については、特にお知らせするようないくつかあります。

三つの決算を認める

はじめに、昭和四十二年度の決算とは、この一年間の予算について町にどれだけの金が入って来て(歳入)何のために、どのくらい

の金か(歳出)これによって、どんな成果が上がったか、などについてその内容を見てもらうことです。

この決算は、これまでに町監査委員(二名)によって約二週間、決算の審査が行なわれ、書類監査や直接、関係のある課、事務局員を呼んで実情を聞くなどして、厳正な監査がなされました。

こうして審査された予算の内容は、監査委員の意見書としてまとめられ、町長に提示されます。

町は決算書にこの意見書を添えて、議会に提出し議会の認定を求めることになるわけです。

議会でも、決算特別委員会(九名で構成)を設けて審査します。このようにして審査された結果

以上の額が算出された場合は、住宅料のほかに割増賃料を納めることになっていきますが、この基準の額もこんど改められ、一種が五万円に、二種が三万円に引き上げられました。

公管住宅法では、この収入超過基準額を超えた場合は、入居している住宅を明け渡すことになっていきますが、現在の住宅難では他の住居にすぐ移ることも不可能な状態であり、このために住宅使用料のほかに割増賃料を納めるような制度になっていくわけです。

黒川団地(新築)の住宅料を決める

黒川団地に四十三年度建設分の住宅使用料を次のように決めました。一種住宅四千四百円、二種住宅二千八百円

赤い羽根

共同募金のお礼と報告

赤い羽根共同募金運動は、昨年の十月一日から十二月三十一日までの三か月間、全国いっせいに行なわれました。

本町でも、この募金について町内の事業所や官公署、ご家庭にご協力をお願いしましたところ、募金総額三十四万九千九百五十五円多額になりました。

ありがとうございます。ご協力に対し、厚くお礼申し上げます

交換記念とクス

院集伊・木治加 町姉妹 育教



お互い大事に育てましょう

教育姉妹町としての盟約を結んだ両町は、お互いに教育・文化などの交流を図っていますが、さる十二月二日加治木中学校で両町合同の教育委員会が開かれました。

その席上、両町から持ち寄った記念樹の交換があり、伊集院町からは「クス」の木を、当町からは「クス」の木がそれぞれ両町教育委員長の手によって交換されました。これら数本の記念樹は、両町の小中学校にこの日の記念として植えられました。

香典返しを寄付

社会福祉協議会へ

香典お返しのかわりに、ご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

- 金額 御遺族 故人
- 二千元 中野 綿打恵造(母ケサノ)
- 三千元 葛蒲谷 外村秀義(妻イキ)
- 三千元 追 井上春男(母スエマツ)
- 二千元 桑 迫 寺師重義(父甚右エ門)
- 二千元 竹下 曾木孝子(母トメ)
- 二千元 赤谷 地久里操(妻ハツ子)
- 五千元 西沙入 中原勇雄(父勇二)
- 五千元 永原 中摩初男(父盛吉)
- 二千元 東沙入 永山 一(妻ヨシ)
- 三千元 新中 小野田次男 (長女ツヤ子)
- 三千元 向江町 緒方アキ子(夫勲)
- 三千元 丸岡 榎谷チカ(夫仲之助)
- 三千元 里ノ下 入部英行(母テイ)
- 五千元 竹下 入部 薫(父熊之進)
- 三千元

吉原 塩入 侃(母アサ) 一万円

錦江町 小浜 勲(妻冬子) 二千元

仲町 緒方金之助 (妻イセマツ) 三千元

茶碗屋 猪俣恭雄(母トモ) 三千元

上 嶽 久木田ユイ(夫義男) 一万円

錦江町 山下為美(父銀太郎) 一万円

本町 森園キサ(夫与一) 五千元

新富団地 遠矢フミエ(母スエ) 二千元

吉原 児玉キミエ(夫明信) 五千元

茶碗屋 川原静一(母チカ) 二千元

辺川下 小宮路 進(母ユリ) 五千元

吉原 田屋敷実則(母ユワ) 二千元

萩原 貴島千代乃(夫栄) 二千元

〇十二月二十七日までのご寄付を掲載しました。

育英資金へ

一万円 中沙入 小浜 勲(妻冬子)

一万円 本町 森園キサ(夫与一)

萩原 貴島千代乃(夫栄)

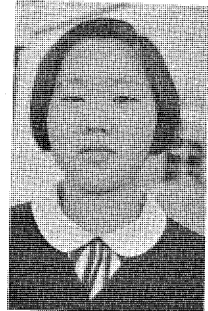
〇十二月二十七日までのご寄付を掲載しました。



「明るい社会をつくる運動」

善行青少年表彰を受けた

中村 洋 子さん



住宅、火災保険、観光事業など十一社を経営している太平グループの社長さんの発案で「明るい社会をつくる運動」が展開され、その一事業として日本全国から特に善行ある青少年を審査のうえ、表彰しています。

中村洋子さんの善行についてはすでにご存知かと思いますが、昨年末、鹿児島県の同グループ鹿児島支店で表彰状の授与式がありました。今回の受賞は、四年もの間、休みを利用して老人ホームを慰問したことがや誕生日を迎える老人たちに、お祝いや励ましの手紙を出し続けたことが認められたものです。

加治木中学校に入学したころ、えびの町にいらっしゃるお兄さんのところへ遊びにいったとき、庭ごしにある、えびの町立養護老人ホーム、

選挙に対する自覚

新有権者の感想文募集

明るく正しい選挙の啓発活動の一つとして、このたび新たに成人となる青年男女から「新有権者の感想文」を募集します。

内容は、新有権者としての民主政治とくに選挙に対する自覚。題は自由、二百字詰め原稿用紙十枚以内。

応募資格は昭和二十三年一月一日から同年十二月三十一日までの出生者。

締め切りは、昭和四十四年一月三十一日(当日消印有効)

提出先、鹿児島市山下町14ノ50 鹿児島県選挙管理委員会〒892

その他、詳しいことは町選挙事務局(町役場二階)に問い合わせください。



交通安全の日

毎月20日を家族ぐるみで

鹿児島県交通安全県民会議では、激増する交通事故を減らすのみで防ぎ止めてゆくため、一月から毎月二十日を「交通安全の日」とすることにしました。

これまで毎月二十日は「事故ゼロの日」として運転者を中心にいろいろな行事や指導取締まりが行なわれてきましたが、こんどからは「交通安全の日」として各事業所や運転者だけでなく、家庭の日と同様、家庭ぐるみの安全にも積

極的な運動を展開してゆくことになりませう。

交通事故は、ちょっとした気のゆるみがかもど起こる場合が多くしかもそれは、予期しないときに突然おそいかかるものです。

自分たちの家族から一人の犠牲者も出さないようにするには、まずひとりひとりが自衛の気構えに徹することです。それには家族の中心である両親、とくに家族全員と接触する機会の多い、おかあさ

んの司会で交通問題をテーマに話し合ってもらったらどうでしょう

テレビや新聞などで報導される交通事故のまじや学校でこどもが習った交通のまじや、職場での交通安全問題など。また近くの危険度の高い交差点の渡り方、道路で遊ばない方法など、おとなもこどもも、それぞれの立ち場から意見を述べ、それらをみんなで見合して決めたことは実行したいものです。

毎月二十日は「交通安全の日」として、家族みんなで交通安全家族会議をひらきましょう。安全のための努力を常に怠らない習慣、そこから家族の安全も幸福も約束されるのです。

加治木の国々へ

加治木ロータリークラブ

加治木ロータリークラブ（会長横山淳一）では、このほど開かれた定例会の席上、加治木町内の小中学校児童生徒たちが書いた作品（図画）を外国に送り、作品の親善交換をすることに決めました。

早速、秋の町美術展に出品された作品の中から八十点あまりを選び、会に設けられている国際奉仕部門員によって準備がすすめられました。さしあたりスイスのトロローゲン

市にあるベストロッツチ児童院をはじめアメリカ、ブラジル、スイス、メキシコ、フランス、ドイツ、イギリス、インドネシアなどの国々に大使館を通じて送ることにあります。

加治木のよいこたちの作品が世界の国々のこどもたちの目を楽しませ、同時に日本の真の姿を学びとって見なおしてくれることでしょう。



送る準備に忙しいロータリー会員

そろそろ.....
金や品物が動きだす。
議員等に金を使わせない！

加治木町
明るく正しい選挙推進協議会
選挙管理委員会

はたち

さあ、天下晴れて一人だちです自分の力、自分の考えで政治に参加し、自分たちのために、町づくり、村づくりのために、若い力をふるおう、平和な福祉国家をきづきあげよう。福祉国家は、あなたが自身がつくるのです。それはあなたの身近に、あなたのくらしの中にあります。

新一年生の健康診断は20日以降

今年四月新一年生として小学校に入学される子どもさん（昭和三十七年四月二日から三十八年四月一日まで生れた者が対象）の健康診断は各小学校毎に行ないませんが一月二十日以降になります。現在教育委員会でその準備をすすめており、該当者に対しては、近日中に保護者あて通知することになります。

加治木町の保育所の申込みは2月10日まで

町内には、三つの保育所があり幼児たちが元気に楽しい毎日を過ごしています。町では、新年度の入所受け付け開始は一月十日から始めます幼児の入所を希望される方は、町役場窓口（住民課）に申請書が準備してありますから、ご記入のうえ、早めにお申し込みください。締め切りは二月十日です。期日におくれないよう、ご注意ください。

今月の納税

町・県民税の4期です
国保税

編集後記

あけましておめでとうございませう。いつも本紙をご愛読くださり、ありがとうございます。編集・担当、新しい年をむかえ、皆さまに親しまれる明るい広報紙とするため、ことしこそは.....と、大いに張り切っています。ことしも、どうぞよろしく。